



TRE
ALTAMIRA
A CLS Group Company

2024年
10月1日(火)
9:30~11:30 (9:00開場)

【会場】

TKP東京駅大手町カンファレンスセンター ホール22F

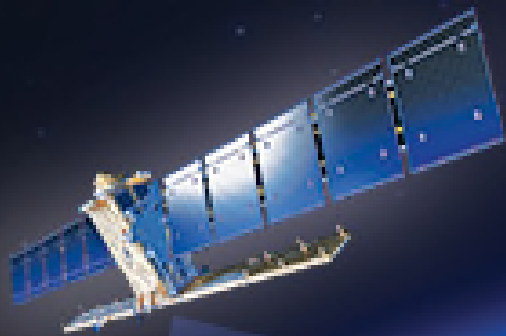
※TKP東京駅カンファレンスセンター(東京駅八重洲口側)とは別会場ですのでお気を付けてください。

【開催方式】

対面方式及びオンライン方式の併用

会場は定員(100名程度)に達し次第締め切らせていただきます。

参加費無料、事前登録必須です



衛星画像解析に関する技術セミナー

宇宙からの高品質な地表観測による 災害リスクの軽減と施設管理

-減災と公共施設管理の変動解析事例の紹介-



SAR衛星

今年にはALOS-2と同じセンサーを搭載したALOS-4が2024年6月30日に打ち上げられ、高い時間分解能での観測が可能になります。



Land Monitoring

TRE-ALTAMIRAと応用地質(株)がSENTINEL を使用して、日本全土の解析を実施しており、建設工事の影響を評価する全国的な分析が行われています。



公共施設の管理

2033年には、国内の橋梁の67%が築50年を超えます。これら施設管理の効率化と合理化が求められています。海外の施設管理事例を紹介します。

主催
TRE ALTAMIRA (Milan) / 応用地質株式会社 防災・インフラ事業部

〒331-8688 埼玉県さいたま市北区土呂町2-61-5

048-652-4975 | ieigy@oyonet.oyo.co.jp | <https://www.oyo.co.jp>

参加登録フォーム
こちらからご登録ください！



プログラム

減災と公共施設管理の変動解析事例の紹介

本セミナーでは、世界の解析結果をもとに、地すべり活動の評価、公共施設の管理、地震発生の影響などについて紹介します。

SqueeSAR®によるこれらの結果は、地表変形の分布だけでなく、全PS/DS地点での経時変化図も提供しており、上昇と下降の両二重形状の解析を鉛直成分と東西成分に分解することで、地すべりや沈下の発生メカニズムを解明や防災に資する高品質な判断材料となります。また、施設の長寿命化や災害リスクの管理にはSAR衛星による変動解析が解決策の一つとなると確信しています。

趣旨

近年の気候変動による大雨や巨大地震などにより大規模災害が頻発する中、災害は人命、公共施設、ライフライン、私有財産に多大なる被害をもたらされています。また、労働人口の減少やインフラの老朽化が進む中、公共施設の長寿命化に向けたメンテナンスが重要な社会課題となっています。

この取り組みの重要な要素の一つが、SqueeSAR®を用いた広域高密度地表変動解析です。EUや日本では既に大陸全体または全国規模の観測が行われており、地すべり活動の評価、公共施設の管理、地震の影響評価などに活用されています。この手法では、広域から重点的な危険地域、個別の施設まで、複数のスケールで高頻度かつ高密度な観測も可能となります。

講師紹介

セミナーでは、日本語通訳があります。



アレッサンドロ・フェレッティ博士

Dr. Alessandro Ferretti

1968年1月27日、イタリア・ミラノ生まれ。
ミラノ工科大学にて、電子工学の学士号、情報工学の修士号、1997年、電気工学の博士号を取得。
1999年にミリメートル単位の精密性で地表面の変動を測定するPSInSAR™の特許を取得。
TRE Altamira社のCEO。



【セミナー詳細】

-日時-

2024年 10月1日 (火) 9:30~11:30 (9:00開場)

-開催方式-

対面方式及びオンライン方式(ZoomおよびTeams)の併用
参加費無料、事前参加登録必須

-会場-

TKP東京駅大手町カンファレンスセンター ホール22F

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目8-1 KDDI大手町ビル 22階
※TKP東京駅カンファレンスセンター(東京駅八重洲口側)とは別会場ですでお気を付けください。

-参加登録-

事前に参加登録をお願いいたします。
会場での受付の際は、名刺を1枚お持ちください。
会場は定員(100名程度)に達ししだい締め切らせていただきます。

セミナー会場



参加事前登録フォーム



アクセスマップ